



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月15日

上場会社名 株式会社 共和コーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 6570 URL <https://www.kyowa-corp.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮本 和彦
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)澤田 亮 (TEL)026(227)1301
 四半期報告書提出予定日 2021年2月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績 (2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|------|---|------|-----|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 7,538 | △26.4 | △125 | — | 265 | 7.3 | △244 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | 10,241 | — | 171 | — | 246 | — | 143 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期第3四半期 | △40.99 | — |
| 2020年3月期第3四半期 | 24.39 | 24.14 |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2021年3月期第3四半期 | 10,920 | 2,955 | 27.1 |
| 2020年3月期 | 10,308 | 3,260 | 31.6 |

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 2,955百万円 2020年3月期 3,260百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期 | — | 8.50 | — | 9.00 | 17.50 |
| 2021年3月期 | — | 5.00 | — | | |
| 2021年3月期(予想) | | | | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期(予想)の期末配当金は未定といたします。開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-------|------|---|------|------|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 10,603 | △22.0 | △68 | — | 327 | △2.5 | △216 | — | △36.27 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2021年3月期3Q | 6,080,130株 | 2020年3月期 | 6,080,130株 |
| ② 期末自己株式数 | 2021年3月期3Q | 106,620株 | 2020年3月期 | 120,400株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2021年3月期3Q | 5,961,925株 | 2020年3月期3Q | 5,892,603株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、2020年11月13日付発表の2021年3月期第2四半期決算短信(2020年4月1日~2020年9月30日)の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

新型コロナウイルス感染症による事業への影響は、今後も段階的かつ広範囲に出てくると予想しており、依然として当社業績への影響は不透明な部分が多い状況ではありますが、当第3四半期累計期間の業績等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づいて業績予想を算出いたしましたので、公表いたします。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (追加情報) | 8 |
| 3. その他 | 9 |
| 継続企業の前提に関する重要事象等 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期累計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間（2020年4月1日から12月31日まで）の当社の業績は、売上高は7,538,888千円（前年同四半期比26.4%減）、営業損失は125,625千円（前年同四半期は営業利益171,167千円）、経常利益は265,099千円（前年同四半期比7.3%増）、四半期純損失は244,356千円（前年同四半期は四半期純利益143,741千円）となりました。

当社が属するアミューズメント業界におきましては、新型コロナウイルス感染症が未だ収束を見せず、個人消費が依然として減少傾向にある中で、先行きが極めて不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社の主力事業であるアミューズメント施設運営事業におきましては、第1四半期累計期間中に発生しました政府の緊急事態宣言による店舗の臨時休業及び営業時間の短縮等により、売上高が前年実績を大きく下回る結果となりました。しかしながら緊急事態宣言解除後は順次営業を再開し、売上は段階的に回復してまいりました。第3四半期累計期間の売上高は、前年同四半期比で26.4%減となったものの、第2四半期累計期間の前年同四半期比35.0%減と比較して8.6ポイントの改善となっております。

また、将来の市場規模成長が期待されるeスポーツにおきましては、2020年10月に全国都道府県対抗eスポーツ選手権2020KAGOSHIMA長野県代表決定戦の共催、2020年11月に長野県社会福祉協議会を通じたオンラインイベントへの運営協力を行うなどeスポーツの普及、発展、地域活性化に取り組んでまいりました。

当社は引き続き、人件費のコントロール及び諸経費全般に亘って削減に努めつつ、店頭での新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を徹底し、お客様が安全に、そして安心してお楽しみいただける店舗運営に注力しております。

当第3四半期累計期間における、セグメント別の概況は次のとおりであります。

① アミューズメント施設運営事業

アミューズメント施設運営事業におきましては、店舗従業員のマスク着用、店舗出入口付近のアルコール消毒液の設置、出入口ドア開放による換気、定期的なゲーム機の消毒清掃等を継続して徹底しております。

売上におきましては、爆発的な人気を博しております「鬼滅の刃」の景品展開強化及び関連イベントを実施したほか、全店にて「オータムスクラッチ」キャンペーン等を開催し、売上の回復を図りました。第3四半期累計期間のアミューズメント施設運営事業における売上高は5,887,801千円（前年同四半期比26.9%減）となり、第2四半期累計期間の前年同四半期比36.0%減と比較して9.1ポイントの改善となりました。またセグメント利益（営業利益）は218,361千円（前年同四半期比66.2%減）となりました。

なお2020年10月に「アピナ各務原店」を開設する一方、契約満了店舗1店舗を閉鎖しており、総店舗数は56店舗となっております。

② アミューズメント機器販売事業

アミューズメント機器販売事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によるアミューズメント機器の販売や納期の延期、景品等の受注キャンセル等により、第1四半期累計期間の売上高は前年実績を大きく下回ることとなりました。その後、アミューズメント機器の販売は依然として厳しい状況が続いておりますが、景品販売においては停止されていた出荷が再開され、また「鬼滅の刃」関連景品の売行きが全体を牽引し、売上げは段階的に回復しております。

この結果、アミューズメント機器販売事業における売上高は1,527,744千円（前年同四半期比26.8%減）となり、第2四半期累計期間の前年同四半期比33.8%減と比較して7.0ポイントの改善となりました。またセグメント利益（営業利益）は29,148千円（前年同四半期比36.8%減）となりました。

③ その他事業

その他事業とは、主に各種媒体を利用した広告代理店業であり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によるイベント等の自粛や広告費の削減等が発生したものの、販促品の販売が増加し、売上高は123,343千円（前年同四半期比27.2%増）、セグメント利益（営業利益）は12,501千円（前年同四半期比232.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末と比較して611,991千円増加し、10,920,555千円となりました。この要因は、現金及び預金が1,535,373千円増加したこと、受取手形及び売掛金が145,244千円、アミューズメント機器（純額）が752,931千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末と比較して917,550千円増加し、7,965,366千円となりました。この要因は、1年内返済予定の長期借入金が157,234千円、長期借入金が1,235,017千円それぞれ増加したこと、未払金が392,786千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末と比較して305,559千円減少し、2,955,188千円となりました。この要因は、利益剰余金が327,788千円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年11月13日付発表の2021年3月期第2四半期決算短信（2020年4月1日～2020年9月30日）の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

新型コロナウイルス感染症による事業への影響は、今後も段階的かつ広範囲に出てくると予想しており、依然として当社業績への影響は不透明な部分が多い状況ではありますが、当第3四半期累計期間の業績等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づいて業績予想を算出いたしましたので、公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (2020年12月31日) |
|-----------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,610,460 | 4,145,833 |
| 受取手形及び売掛金 | 678,510 | 533,265 |
| 有価証券 | — | 200,000 |
| 商品 | 37,633 | 31,174 |
| 貯蔵品 | 169,392 | 182,998 |
| 未収入金 | 40,586 | 17,852 |
| その他 | 301,761 | 846,779 |
| 貸倒引当金 | △1,826 | △1,037 |
| 流動資産合計 | 3,836,518 | 5,956,868 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| アミューズメント機器 (純額) | 1,926,815 | 1,173,883 |
| 建物 (純額) | 1,311,338 | 1,234,498 |
| 機械及び装置 (純額) | 22,511 | 32,957 |
| 工具、器具及び備品 (純額) | 164,432 | 142,854 |
| 土地 | 764,314 | 764,314 |
| その他 (純額) | 79,248 | 17,093 |
| 有形固定資産合計 | 4,268,660 | 3,365,602 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 31,372 | 33,747 |
| 無形固定資産合計 | 31,372 | 33,747 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 103,629 | 103,590 |
| 繰延税金資産 | 236,096 | — |
| 敷金及び保証金 | 1,324,730 | 1,268,932 |
| その他 | 568,607 | 243,009 |
| 貸倒引当金 | △61,050 | △51,194 |
| 投資その他の資産合計 | 2,172,013 | 1,564,338 |
| 固定資産合計 | 6,472,045 | 4,963,687 |
| 資産合計 | 10,308,564 | 10,920,555 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2020年3月31日) | 当第3四半期会計期間 (2020年12月31日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 942,962 | 1,038,987 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,204,370 | 1,361,604 |
| 未払金 | 752,093 | 359,306 |
| 未払法人税等 | 1,046 | — |
| 未払消費税等 | 97,180 | 32,610 |
| 資産除去債務 | 20,307 | 6,884 |
| 賞与引当金 | 69,458 | 34,661 |
| 設備関係支払手形 | 115,439 | 9,988 |
| その他 | 47,607 | 56,261 |
| 流動負債合計 | 3,250,466 | 2,900,304 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,319,479 | 4,554,496 |
| 資産除去債務 | 472,118 | 481,587 |
| 繰延税金負債 | — | 26,078 |
| その他 | 5,752 | 2,900 |
| 固定負債合計 | 3,797,349 | 5,065,062 |
| 負債合計 | 7,047,816 | 7,965,366 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 709,709 | 709,709 |
| 資本剰余金 | 501,395 | 502,002 |
| 利益剰余金 | 2,054,205 | 1,726,416 |
| 自己株式 | △24,441 | △21,419 |
| 株主資本合計 | 3,240,867 | 2,916,709 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 19,880 | 38,479 |
| 評価・換算差額等合計 | 19,880 | 38,479 |
| 純資産合計 | 3,260,748 | 2,955,188 |
| 負債純資産合計 | 10,308,564 | 10,920,555 |

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) | 当第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | 10,241,177 | 7,538,888 |
| 売上原価 | 5,566,104 | 4,145,977 |
| 売上総利益 | 4,675,072 | 3,392,911 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,503,904 | 3,518,536 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 171,167 | △125,625 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,510 | 1,307 |
| 受取配当金 | 3,284 | 1,262 |
| 受取保険金 | 45,388 | 371,223 |
| 貸倒引当金戻入額 | 29,308 | 528 |
| その他 | 21,264 | 42,388 |
| 営業外収益合計 | 100,757 | 416,710 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 21,710 | 23,406 |
| その他 | 3,245 | 2,578 |
| 営業外費用合計 | 24,955 | 25,985 |
| 経常利益 | 246,969 | 265,099 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 8,194 | — |
| 補助金収入 | — | 48,819 |
| 受取保険金 | — | 96,336 |
| その他 | 4 | 32,381 |
| 特別利益合計 | 8,198 | 177,537 |
| 特別損失 | | |
| 臨時休業による損失 | — | 344,536 |
| 固定資産除却損 | 36,539 | 1,357 |
| 減損損失 | 15,238 | 85,995 |
| 特別損失合計 | 51,777 | 431,889 |
| 税引前四半期純利益 | 203,390 | 10,747 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 30,795 | 24,684 |
| 法人税等還付税額 | — | △23,607 |
| 法人税等調整額 | 28,853 | 254,027 |
| 法人税等合計 | 59,649 | 255,104 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 143,741 | △244,356 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|----------------------|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|-----------------------------|
| | アミューズ メント施設 運営 | アミューズ メント機器 販売 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,056,500 | 2,087,731 | 10,144,231 | 96,945 | 10,241,177 | — | 10,241,177 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,056,500 | 2,087,731 | 10,144,231 | 96,945 | 10,241,177 | — | 10,241,177 |
| セグメント利益 | 645,593 | 46,106 | 691,699 | 3,763 | 695,462 | △524,294 | 171,167 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アミューズメント施設運営」セグメントにおいて、減損損失 15,238千円 を計上しております。

当第3四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期 損益計算書 計上額 (注3) |
|-----------------------|----------------------|----------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|-----------------------------|
| | アミューズ メント施設 運営 | アミューズ メント機器 販売 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,887,801 | 1,527,744 | 7,415,545 | 123,343 | 7,538,888 | — | 7,538,888 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,887,801 | 1,527,744 | 7,415,545 | 123,343 | 7,538,888 | — | 7,538,888 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 218,361 | 29,148 | 247,510 | 12,501 | 260,011 | △385,637 | △125,625 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業であり、広告代理店事業を含んでおります。

2. 調整額は、主に各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「アミューズメント施設運営」セグメントにおいて、減損損失85,995千円を計上しております。

(追加情報)

当事業年度の第2四半期報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについては、重要な変更はありません。

なお、当事業年度の第2四半期報告書の(追加情報)に記載した内容は、次のとおりであります。

「前事業年度の有価証券報告書及び当事業年度の第1四半期報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについては、新型コロナウイルス感染症の影響は長期に及び、治療薬やワクチンの開発によって来期以降には収束していくものの完全には撲滅できないため、感染拡大以前の状況には戻らず多少の影響が続くと仮定して、現時点で入手可能な情報に基づいて固定資産の減損に関する判断及び繰延税金資産の回収可能性に関する会計上の見積りを行うことに変更しております。

しかしながら、過去に例を見ない新型コロナウイルス感染症拡大の影響は不確実な部分があるため、今後長期化した場合や深刻化した場合は、会計上の見積りに影響を及ぼす可能性があります。」

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。